

小児看護学実習

単
位
数

2

時
間
数

90

2年次 11月～3月・3年次 5月～9月 開講

目的

小児期にある対象の特徴を理解し、対象の成長発達を促すとともに、健康障害のある子どもとその家族への看護ができる。

【保育園実習】

目標

1. 健康な乳幼児の成長発達の段階をとらえることができる。
2. 乳幼児の安全を守るための、保育環境を理解することができる。
3. 乳幼児の生活において、年齢に応じた遊びの内容を観察できる。
4. 乳幼児の個々にあった日常生活を整える保育を行うことができる。
5. 乳幼児の健康を守るための保育を理解することができる。
6. 家族とどのように連携をとりながら、乳幼児の保育をすすめているかを理解することができる。

【病棟実習】

目標

1. 健康を障害された子どもの特徴が理解できる。
2. 健康を障害された子どもの健康を回復するための援助ができる。
3. 健康を障害された子どもをもつ家族への援助ができる。
4. 健康を障害された子どもと、家族を支える保健・医療・福祉の連携について知り、看護の役割を理解できる。

*実習内容・実習方法・実習評価の詳細は実習ハンドブック参照

学習上の留意点

保育園実習の受講にあたっては以下の科目の履修が要件となる。

小児看護学概論、基礎看護学実習 2

病棟実習の受講にあたっては、保育園実習出席及び以下の科目履修が要件となる。

基礎看護学実習 2、臨床看護総論、小児看護学概論、小児の疾患と治療、健康障害をもつ子どもと家族の看護、小児看護技術演習